

第89期
中間事業報告書

令和4年4月1日から
令和4年9月30日まで



営業の概況



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第89期第2四半期の営業の概況と決算の状況をご報告するにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の消費への影響が和らぎ、緩やかに持ち直しの動きがみられました。

しかしながら、ウクライナ情勢の長期化などによる原材料価格の高騰、供給面での制約に加え、世界的な金融引き締めの影響が国内景気を下押しするリスクとなることが懸念され、先行きは依然として不透明な状況にあります。

住宅業界におきましては、材料高による建築費の上昇や建築資材の供給不足等の影響もあり、令和4年4月～9月の新設住宅着工は、戸数443千戸（前年同期比0.7%減）、床面積35,628千㎡（同3.0%減）となりました。

今期は第6次中期経営計画「FUKUVI NEXT」（2020年度～2022年度）の最終年度にあたりますが、下記の3つの基本方針に則った施策を展開しています。

●成長分野への積極展開

主力となる建築資材分野では、戦略的に攻める製品・分野を選定のうえ、顧客に価値を訴求するアプローチを強化した結果、「プラスッド」や「パスパネル」などが好調に推移しました。また、これまで進めてきた非対面のデジタルマーケティングでも徐々に成果が出てきており、引き続き注力してまいります。海外に関しては、米国において顧客の一部で在庫調整がみられましたが、余裕が出たラインを受注堅調なVictory Bearブランドにシフトすることで、生産性の維持や収益の確保に努めました。ASEANエリアでは、建材ビジネス基盤の構築に向けて、マーケティング活動並びに協業パートナーへのアプローチ強化に取り組んでいます。

●収益構造の改革推進による利益の創造

第1四半期同様に原材料高騰という逆風はあったものの、採算を意識した活動を全社横断で取り組んだ結果、当第2四半期の収益性は第1四半期比改善し、併せて販売費

及び一般管理費を売上比抑えることにより、計画した営業利益を確保することができました。今後も戦略的なプライシングの強化と一層の原価低減による収益性の改善を図ってまいります。新事業・新商品開発への取り組みでは、環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue（フクバリュー）」を立ち上げました。「Fukuvalue（フクバリュー）」はフクビ（FUKUVI）が再価値化（Revalue）を実践することを目的とした社内独自の認証制度であり、その認証を通じて環境配慮型商品の付加価値向上につなげていきたいと考えています。

●挑戦と変革を実現する経営基盤の確立

グループ体となった経営基盤の確立を目指し、連結会計システムの整備を進めてきました。また、挑戦を後押しする人事評価制度を見直すなど、社員一人ひとりが働き甲斐を感じる施策を推し進めることで、従業員エンゲージメントの更なる向上を図ってまいります。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は193億55百万円と、前年同期に比べ10.0%の増収となりました。利益面につきましては、営業利益5億8百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益7億58百万円（同21.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億99百万円（同45.3%増）となりました。

なお、営業外収益として為替差益1億36百万円、特別利益として退職給付信託資産返還益1億89百万円を計上しています。

事業別の売上状況は、以下のとおりであります。

A. 建築資材事業

建築資材事業の売上は、147億18百万円（同9.5%増）で、売上高全体の76.0%を占めました。

建築資材事業では環境配慮型認証制度「Fukuvalue」に認定された製品等の拡充と新市場に向けた販売に取り組み、ウェブセミナー、展示会を通じて、新たな顧客の開拓と関係強化に努めました。

製品別では、外装建材において再生プラスチックを使用した樹脂製瓦棧、防水部材が堅調に推移し、28億72百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

内装建材においては、住宅の高断熱化への意識の高まりと高性能断熱材「フェノバボード」や環境配慮型断熱材「フクフォームEco」を積極的に提案したことにより、また浴室用パネルにつきましても非住宅物件が増えたことから堅調に推移し、61億39百万円（同8.6%増）となりました。

床関連材においては、乾式二重床システム、OAフロアなどは順調な伸びを示し、38億10百万円（同8.7%増）となりました。

システム建材においては、防蟻関連システムは低調となりましたが、一方でエアサイクルシステム、木粉入り樹脂建材

は好調に推移し、19億7百万円(同9.7%増)となりました。

B.産業資材事業

産業資材事業の売上は、46億37百万円(同11.6%増)で、売上高全体の24.0%を占めました。

精密化工品分野において、半導体不足やコロナ感染による中国ロックダウンの影響を受けて車載・非車載を問わず受注が弱含んだ一方で、住宅設備部材は各社リフォーム需要の伸びと値上げ前の駆け込み需要により堅調に推移しました。また、物流資材の自社ブランド「フォークガード」が伸長し、売上増加に寄与しました。

資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億45百万円(前期末比0.7%)増加し、497億23百万円となりました。主な増減要因としては、流動資産では、現金及び預金が4億84百万円減少した一方で、電子記録債権が6億34百万円増加、また受取手形、売掛金及び契約資産が63百万円増加したことなどにより、3億8百万円(同0.9%)の増加となりました。固定資産では、退職給付に係る資産が5億7百万円減少した一方で、投資有価証券が3億15百万円増加、また無形固定資産が1億90百万円増加したことなどにより、37百万円(同0.2%)の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ62百万円(前期末比0.4%)減少し、160億62百万円となりました。主な増減

要因としては、流動負債では、支払手形及び買掛金が44百万円増加した一方で、未払法人税等が1億58百万円減少したことや、未払金が1億21百万円減少したことなどにより、2億43百万円(同1.7%)の減少となりました。固定負債では、リース債務が1億66百万円増加、また繰延税金負債が28百万円増加するなど、1億81百万円(同11.4%)の増加となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億7百万円(前期末比1.2%)増加し、336億60百万円となりました。その他有価証券評価差額金が1億30百万円減少、また退職給付に係る調整累計額が1億30百万円減少した一方で、利益剰余金が3億80百万円増加したことや、為替換算調整勘定が1億87百万円増加したことなどによるものです。この結果、株主資本合計は312億85百万円、自己資本は329億38百万円となり、自己資本比率は66.2%となりました。

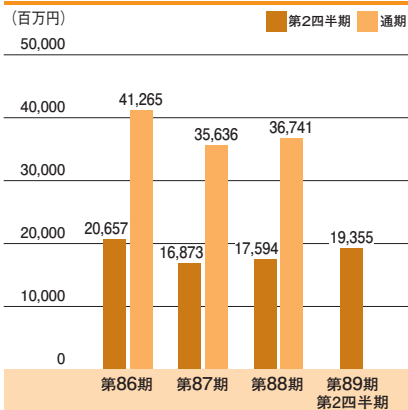
今後の経営環境につきましては依然として不透明な状況が続くものと予想されますが、現時点において令和4年5月12日公表の通期連結業績予想に変更はありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

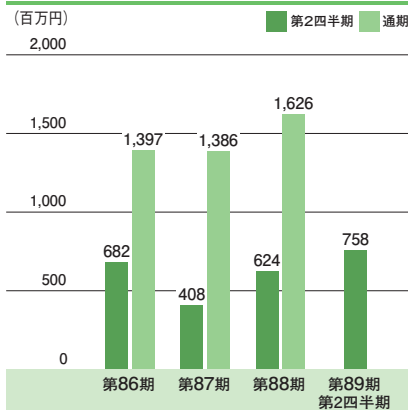
令和4年12月

代表取締役社長 **八木誠一郎**

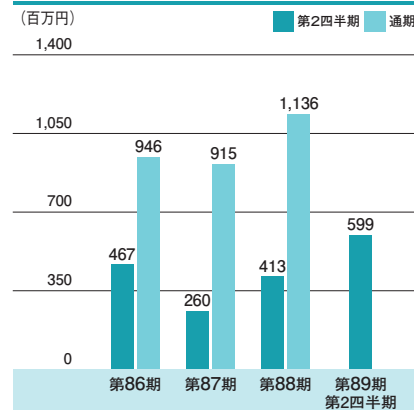
●連結売上高



●連結経常利益



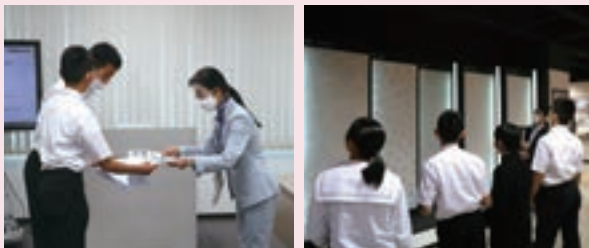
●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



令和4年5月～10月の主なTOPICS

中学生向け職場見学会を開催しました

令和4年
5月19日
10月28日



5月19日に福井市立森田中学校の2年生5名、10月28日に坂井市立春江中学校の2年生30名の職場見学会を行いました。両校は「総合的な学習の時間」でSDGsに関して学習を進めており、人工木材「プラスッド」の製造工場やショールーム見学を通じて、当社のSDGsへの取り組みやSDGs関連製品について理解を深めていただきました。

東尋坊、福井駅前「ふくみち」の社会実験に参画しました

令和4年
5月16日～
6月17日

北陸新幹線の延伸に伴う東尋坊の再整備に向けた社会実験として5月16日から29日まで東尋坊商店街に、また、福井市が福井駅周辺で実施する社会実験「ふくみち」において6月1日から17日まで福井放送会館前に、それぞれファンダライン(人工木材「プラスッド」を利用した屋外向け家具ブランド)のベンチ・テーブルが設置されました。



抗ウイルス仕様「浴室樹脂開口枠」を新発売しました

令和4年
6月1日



浴室開口に使用する樹脂開口枠は水濡れに強く、腐らない特長で木枠に対する優位性がありますが、昨今の社会における衛生面の関心の高まりに応え、表層に抗ウイルス加工と抗菌加工を施した、抗ウイルス仕様「浴室樹脂開口枠」を新発売しました。抗ウイルス・抗菌SIAA認証を取得しており、一般住宅ではもちろん、医療施設や高齢者施設等、不特定多数の方が触れる場面でも安心してご使用いただけます。



FOOMA JAPAN2022に出展しました

令和4年
6月7日～
10日



6月7日から10日の4日間、日本食品機械工業会主催の「FOOMA JAPAN2022」が東京ビッグサイトにて開催され、当社は衛生管理が求められる食品工場の中木部(壁・床の取合い部)などに使用される不燃R巾木材「ソリッドライン」をブース展示しました。ブースでは「ソリッドライン」の特長である、不燃性、耐衝撃性、耐薬品性、中実性構造や施工性などの説明を行い、多くのお客様が説明に聞き入っておられました。

高校生向け職場見学会を開催しました

令和4年
7月28日

福井県立藤島高等学校の1年生5名が当社で職場見学会を行いました。藤島高校は「キャリア教育講座」の一環として、県内企業の職場見学を行っており、企業について知ること、将来福井で活躍する人材の育成を推進しています。当社としても、地元企業のモノづくり・技術に興味を持ってもらうことで、地域活性化に貢献することができる機会と考え、工場・ショールーム見学、若手社員との座談会を実施し、生徒の皆様当社への理解を深めていただきました。



FUKUVI (THAILAND) CO.,LTD. でインターンシップを実施しました

令和4年
8月22日～
9月2日



FUKUVI(THAILAND)CO.,LTD.で、福井工業大学3年生2名のインターンシップを実施しました。福井工業大学では、将来グローバルに活躍できる人材の育成を図ることを目的に、2016年度から地域企業の協力を得て海外インターンシップを実施しています。10日間の研修期間で、製造工程の見学や検品・梱包作業など、海外事業所での仕事と生活を体験いただきました。このようなインターンシップの取り組みを通じて、将来的なグローバル人材の育成と地域の活性化に貢献してまいります。

令和4年
8月24日

環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue」を立ち上げました

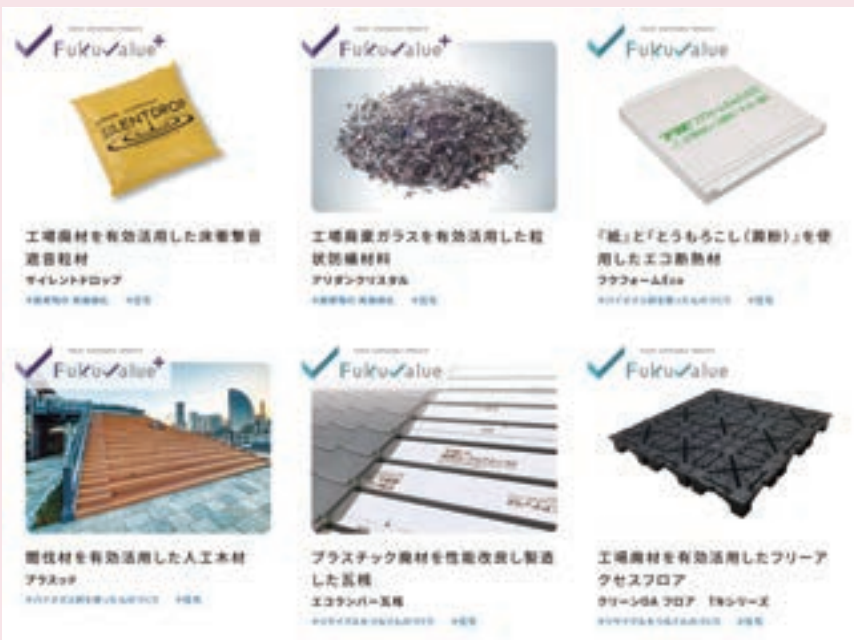


8月24日に、環境配慮型商品ブランド「Fukuvalue(フクバリュー)」の立ち上げを公表しました。

当社は、これまで企業理念のもと、リサイクル材料やバイオマス材料などを利用した環境配慮型商品の開発を通じて環境への貢献を行ってまいりましたが、今般ますます環境貢献型の商品や、環境に配慮した事業活動を求められていることから、ステークホルダーの皆様に環境配慮型商品をより分かりやすく発信するため、「Fukuvalue」を創設しました。

「Fukuvalue」では、プラスチック資源循環戦略(政府公表)に示されている4R(リデュース・リユース・リサイクル・リニューアブル)に加え、当社独自の5つ目のR、リバリュー(再価値化)を加えた“フクビの5R”を切り口とした認証基準を設定し、全ての新商品について企画・開発の段階で環境性能を厳正に評価する仕組みを整えました。これからも社会やステークホルダーの希求に応え、商品の環境性能の向上を図りながら、ラインナップを拡充、拡販してまいります(初回は認定品6商品にてスタート)。

フクビグループは2020年11月の「フクビSDGs宣言」のもと、環境経営を更に深化させて、当社グループの成長と環境への貢献を一体化し、よりサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。





名証IRエキスポ2022に出展しました

令和4年
9月9日～
10日



名古屋証券取引所主催の名証IRエキスポ2022に出展しました。新型コロナウイルス感染拡大により3年ぶりの開催となった今回は、2日間で約5,400名と、多くの個人投資家の皆様が来場されました。当社ブースでは2日間で計10回の説明会を開催し、各回とも満席となるなど、たくさんの投資家の皆様でにぎわいました。

フクビ化学・リフォジュール・アリス化学の3社協賛によるミュージカルを開催しました

令和4年
9月19日

ハーモニーホールふくいの開館25周年を記念し公演された、福井発の新作ミュージカル「雪の女王」に、当社グループ(フクビ化学、リフォジュール、アリス化学)が冠協賛いたしました。当社グループは、SDGs活動の一環として今後も引き続き地域の皆様への貢献活動を展開してまいります。



企業イメージ広告を更新しました

令和4年
9月21日～



イメージ広告のデザインを更新しました。「地球を、クマなく想う」は、創業者・八木熊吉に由来する当社のシンボルマークのクマとともに、培ってきた化学のチカラで何ができるか、地球をクマなく見つめ、考え、想い続けることを表しています。新広告は9月21日より小松空港2階の出発ロビーへの新規掲出を行うとともに、JR福井駅構内の広告看板も10月4日より新デザインに更新いたしました。

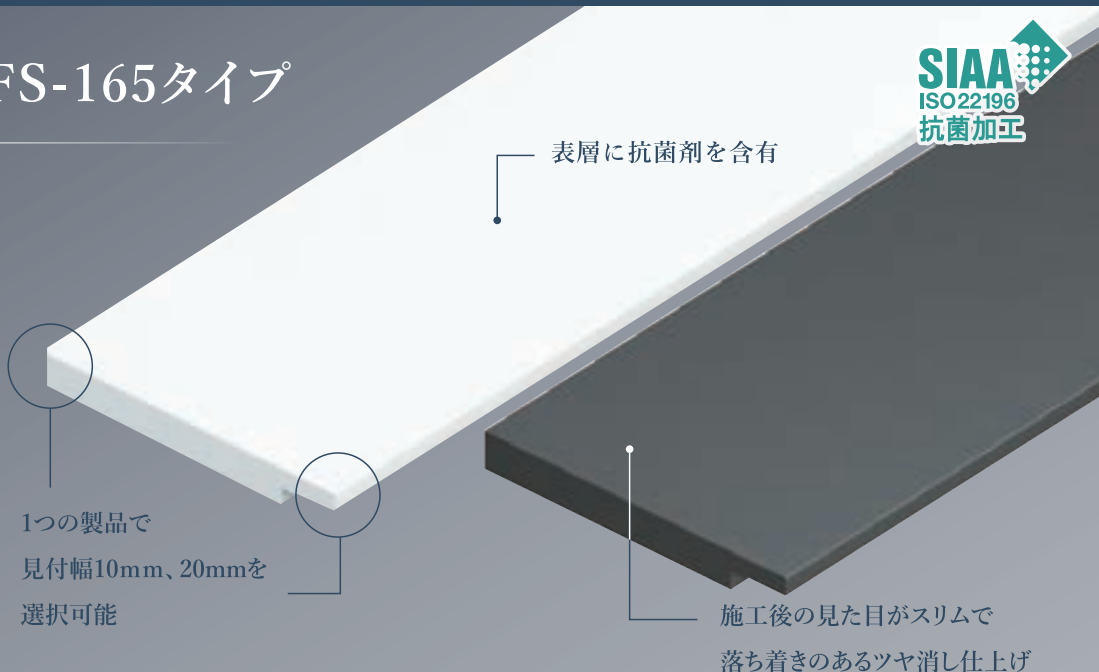
水廻りの必需品

浴室樹脂開口枠

細見付品FS-165タイプ



シック&スリムな見た目で
スタイリッシュな仕上がりに



POINT. 01

見付幅を従来より細くすることで、
シャープな納まりを実現

POINT. 02

表層には抗菌性能を付与し、
抗菌SIAAの認証を取得



POINT. 03

カラーは従来の
ホワイトに、
新たにシックな装いの
ブラックを追加



抗ウイルス仕様

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工

SIAA
抗菌加工

抗ウイルスを

「あたりまえ」に。

フクビが目指す

「あたりまえ」。



LINE UP

合板タイプ

- 開戸 UR-165VPT 3方枠セット
- 引戸 UR-165VPT 3方枠セット

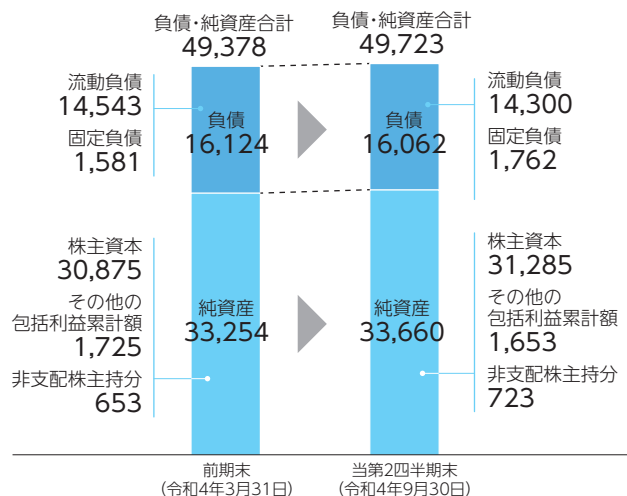
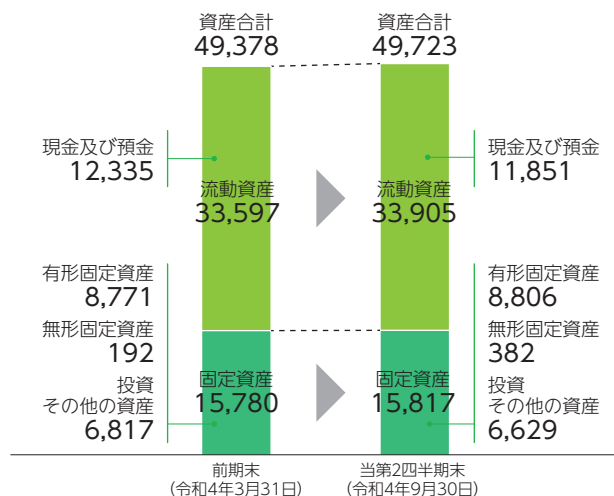
合板なし

- 開戸 UH-200VPT 3方枠セット
- 引戸 UH-200VPT 3方枠セット

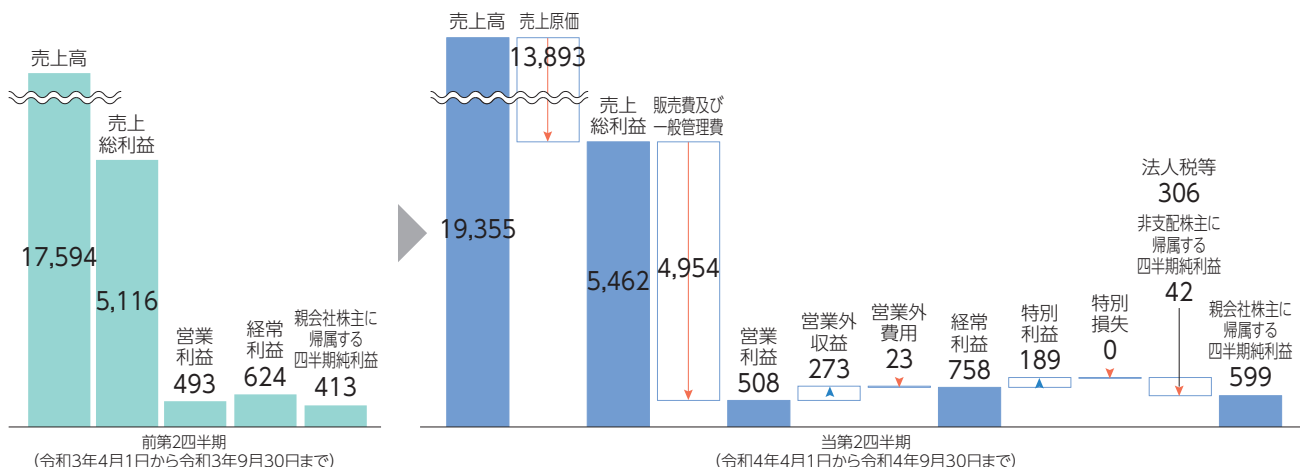


連結財務諸表の概要

【資産の状況】 (百万円)



【損益の状況】 (百万円)



会社の概要

会社の概要

(令和4年9月30日現在)

創 立 昭和28年5月25日

資 本 金 21億9,390万円

U R L <https://www.fukuvi.co.jp/>

主要な事業品目

建 築 資 材

外 装 建 材

セミックス(窯業系不燃外装材)、左官定木、エコランバー、換気材、スーパーエアテックス(透湿防水シート)、土台パッキン、エクラート(FRP製外装装飾材)、ウェザータイト(防水部材)、耐震関連部材

内 装 建 材

バスパネル(浴室用パネル)、見切、内装下地材、点検口枠、アルパレージ、樹脂開口枠、養生材、フェノバボード・フクフォーム・フクフォームEco(断熱材)、ケンジュール(人工大理石)、越柵(不燃手すき和紙化粧板)

床 関 連 材

クッションフロア、床タイル、フリーフロア、乾式遮音二重床システム、OAフロア(フリーアクセスフロア)、機能束(ブラ束、鋼製束)

システム建材

エアサイクルシステム、リフォジュール(リフォーム天井システム)、アリダン工法(防蟻工法)、プラスッド(木粉入り樹脂建材)、メルツエンサッシ内窓

産 業 資 材

樹 脂 サ ッ シ 窓枠、浴室用ドア

産 業 機 器

車両部材、住宅設備部材、機器部材、仮設部材、精密化工品

役 員

(令和4年9月30日現在)

代 表 取 締 役 八 木 誠一郎
社 長 執 行 役 員

代 表 取 締 役 采 野 進
副 社 長 執 行 役 員

代 表 取 締 役 大 畑 忠
専 務 執 行 役 員

取 締 役 岩 淵 滋

取 締 役 諫 山 滋 三井化学株式会社 参与

取 締 役 南 保 勝 福井県立大学地域経済研究所所長

取 締 役 執 行 役 員 加 川 潤 一

取 締 役 執 行 役 員 豊 嶋 雅 子

常 勤 監 査 役 川 瀬 慎一郎

監 査 役 玉 井 三千雄 玉井公認会計士事務所長

監 査 役 藪 原 孝 夫 藪原孝夫税理士事務所長

顧 問

顧 問 長 瀬 洋 長瀬産業株式会社 代表取締役社長

顧 問 森 克 則 三井物産プラスチック株式会社 代表取締役社長

顧 問 小 田 英 治

企業理念

- ・化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する。
- ・企業経営を通じて、地域に貢献し、環境共生型社会形成に寄与する。

中長期ビジョン

- ・新たな技術開発と市場創造に絶え間なく挑戦し、快適な社会の実現に貢献する。
- ・一人一人の成長と企業の成長が一体となることで、喜びを実感できるフクビグループを目指す。

株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日の公告方法 電子公告により行います。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<https://www.fukuvi.co.jp/>
上場証券取引所 東京スタンダード市場・名古屋メイン市場

単元株式数 100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ご注意

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行全国本支店にてお取扱いいたします。

独自の技術で未来をひらく



この事業報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。

